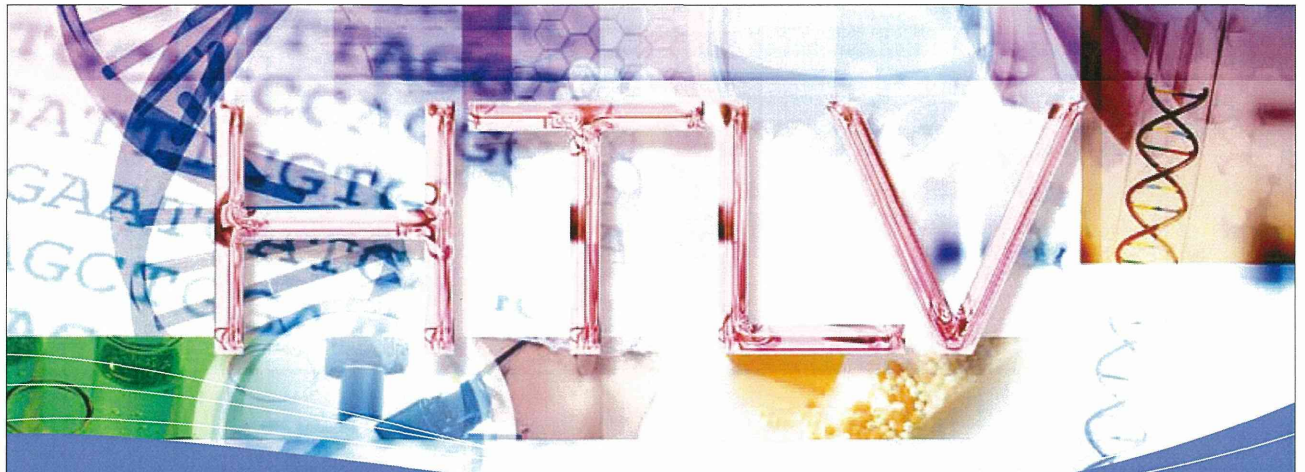


資料 3 第 6 回 HTLV-1 研究会・シンポジウムポスター



第6回HTLV-1研究会・シンポジウム

東京大学医科学研究所講堂

〒108-8639 東京都港区白金台4-6-1

8/
23
Fri

第3回HTLV-1国際シンポジウム

海外・国内招待講演者：

Dr. Bernardo Galvão- Castro (Brazil)

Dr. Mari Kannagi (Japan)

Dr. Yoshihisa Yamano (Japan)

Dr. Graham Taylor (UK)

Dr. Juan Carlos Ramos (USA)

Dr. Atae Utsunomiya (Japan)

Information

8/
24
Sat

第2回ATLシンポジウム

新野大介(久留米大学医学部) 中野和民(東大院)

藤原 弘(愛媛大学医学部) 崔 日承(九州がんセンター)

第6回HTLV-1研究会

第6回研究会総会

ポスターディスカッション／情報交換会

母子感染予防特別講演：齋藤 滋(富山大)

事前参加登録メ切

8/19

当日参加可

公開シンポジウムのみ
参加の場合は、登録不要、
直接会場に
お越しください

8/
25
Sun

第6回HTLV-1研究会

ポスターディスカッション／情報交換会

公開シンポジウム：

「知って下さい、HTLV-1を」

—聞いて！活かして！キャリア・患者の本音—

詳細はHPを
ご覧下さい
<http://htlv.umin.jp/2013/>

主催：HTLV-1研究会
厚生労働省科学研究費補助金研究班「ATL克服に向けた研究の現状調査と進捗状況把握にもとづく効率的な研究体制の構築に関する研究」

事務局 〒108-8639 東京都港区白金台4-6-1 東京大学医科学研究所2号館3階西
連絡先 東京大学大学院 新領域創成科学研究科メディカルゲノム専攻 東京大学医科学研究所連携教授 渡邊俊樹
電話：03-5449-5298 FAX：03-5449-5418 E-mail：tnabe@ims.u-tokyo.ac.jp

登録 第6回HTLV-1研究会登録事務局 〒101-8449 東京都千代田区猿樂町1-5-18 千代田ビル (株) ICSコンベンションデザイン内
事務局：TEL：03-3219-3600 Fax：03-3219-3577 E-mail：htlv-1_reg@ics-inc.co.jp

参加
無料

HTLV-1 シンポジウム 8月25日

知って下さい HTLV-1 を

聞いて！活かして！患者とキャリアの本音

司会 菅付加代子 特定非営利活動法人 スマイルリボン代表

神崎 稔章 (ATL ネット会員)

久保田 孝子 (全国 HAM 患者友の会関東支部長)

蒲生 未知夫 (スマイルリボン会員)

池上 真弓 (キャリアママの会 カランコエかごしま代表)

課題

1 (現状) 困ったこと ————— 診断～治療・相談

2 (要望) 求めたいこと ————— 行政、診療、研究

3 (対策) それぞれの立場でできること — 医者、患者、キャリア、行政



特定非営利活動法人スマイルリボンは、HTLV-1 関連した全ての方を対象として、ATL ネット、全国 HAM 患者友の会、キャリアママの会 カランコエの活動を行っています。

8月23日(金) 第3回 HTLV-1 国際シンポジウム

14:00-17:35

第3回 HTLV-1 国際シンポジウム

Opening : Toshiaki Watanabe (The University of Tokyo)

The current situation of HTLV-1 infection in Salvador, Bahia: the city with the highest prevalence in Brazil12
Bernardo Galvão- Castro

Oswaldo Cruz Foundation, HTLV Center, Bahiana School of Medicine

Immunological control of HTLV-1: Prospective therapy towards prophylaxis of disease13

Mari Kannagi¹⁾, Atsuhiko Hasegawa¹⁾, Youko Suehiro²⁾, Ayako Takamori¹⁾, Shuichi Kinpara¹⁾,
Satomi Ando¹⁾, Amane Sasada¹⁾, Atae Utsunomiya³⁾, Ilseung Choi²⁾, Jun Okamura⁴⁾, Naokuni Uike²⁾

1) Department of Immunotherapeutics, Tokyo Medical and Dental University

2) Department of Hematology, National Kyushu Cancer Center

3) Department of Hematology, Imamura Bun-in Hospital

4) Institute for Clinical Research, National Kyushu Cancer Center

Development of novel molecular targeted therapies for HAM/TSP14

Yoshihisa Yamano

Department of Rare Diseases Research, Institute of Medical Science, St. Marianna University School of Medicine

15:35-16:00 Coffee Break

Update on ATLL in UK15

Graham P Taylor

Imperial College London

Clinical Features, Treatment Outcome, and Predictive Biomarkers in Adult T-cell leukemia/lymphoma:

University of Miami Experience16

Juan Carlos Ramos

University of Miami

Development of anti-CCR4 humanized monoclonal antibody, Mogamulizumab, for treatment of ATL and PTCL...17

Atae Utsunomiya

Department of Hematology, Imamura Bun-in Hospital

Closing : Kunihiro Tsukasaki (National Cancer Center Hospital East)

17:35-18:30

Welcome Reception

8月24日(土) 第2回ATLシンポジウム・第6回HTLV-1研究会

9:00-9:05

会長挨拶

「HTLV-1研究会と国際及び国内シンポジウムの共同開催について」

渡邊 俊樹 (東京大学大学院)

9:05-10:45

第2回ATLシンポジウム

ウイルス複製を有利にする HTLV-1 Rex の新たな機能の可能性と宿主細胞への影響.....18

中野 和民¹⁾、安東 友美²⁾、山岸 誠¹⁾、横山 弘一¹⁾、唐澤 伸明¹⁾、橋爪 大明¹⁾、高橋 隆太郎¹⁾、高橋 碧¹⁾、石田 尚臣³⁾、大杉 剛生⁴⁾、田中 勇悦⁵⁾、David W. Brighty⁶⁾、渡邊 俊樹¹⁾

1) 東大院 新領域創成科学研究科 メディカルゲノム専攻

2) 国立感染症研究所 ウイルス第二部

3) 東大医科学研究所 アジア感染症研究拠点

4) 熊本大学生命資源研究 支援センター 動物資源開発研究部門

5) 琉球大学大学院 医学研究科

6) Division of Cancer Research, Medical Research Institute, University of Dundee

ATLL リンパ節病変における表面マーカーと組織像の解析.....19

新野 大介、大島 孝一

久留米大学医学部病理学教室

hTERT を治療標的抗原とする ATL に対する新規細胞免疫療法の開発研究.....20

藤原 弘¹⁾、宮崎 幸大¹⁾、朝井 洋晶¹⁾、越智 史博¹⁾、越智 俊元¹⁾、東 太地¹⁾、石田 高志²⁾、岡本 幸子³⁾、峰野 純一³⁾、葛島 清隆⁴⁾、珠玖 洋⁵⁾、安川 正貴¹⁾

1) 愛媛大学大学院 血液・免疫・感染症内科学

2) 名古屋市立大学大学院 腫瘍・免疫内科学

3) タカラバイオ (株) 細胞遺伝子治療センター

4) 愛知がんセンター 腫瘍免疫学部

5) 三重大学大学院 遺伝子・免疫細胞治療学

成人 T 細胞白血病リンパ腫に対する同種造血幹細胞移植の臨床研究.....21

崔 日承¹⁾、田野崎 隆二²⁾、宇都宮 與³⁾、岡村 純⁴⁾、鵜池 直邦¹⁾

1) 九州がんセンター 血液内科

2) 国立がんセンター中央病院 輸血療法科

3) 今村病院分院 血液内科

4) 九州がんセンター 臨床研究センター

10:45-11:00 Coffee Break

11:00-12:00

ポスター発表 フラッシュトーク

12:00-12:30

HTLV-1 研究会総会

12:30-14:00

ポスターセッション (共催：中外製薬株式会社)

14:00-14:30

特別講演

- 新しくなった HTLV-1 母子感染対策事業—医師、看護師、助産師、保健師、行政との共働—22
 齋藤 滋¹⁾、木下 勝之²⁾、田中 政信³⁾、板橋 家頭夫⁴⁾、森内 浩幸⁵⁾
 1) 富山大学 産科婦人科
 2) 日本産婦人科医会 会長
 3) 日本産婦人科医会 常務理事
 4) 昭和大学 小児科
 5) 長崎大学 小児科

14:30-15:30

一般演題口演：疫学・感染予防ほか

- O-1 HTLV-1 キャリア妊婦から出生した児の臍帯血中 HTLV-1 抗体価およびプロウイルス量に関する検討24
 三浦 清徳¹⁾、築山 尚史¹⁾、猪口 直子²⁾、佐々木 大介²⁾、上平 憲³⁾、柳原 克紀²⁾、森内 浩幸⁴⁾、吉浦 孝一郎⁵⁾、
 増崎 英明¹⁾
 1) 長崎大学 産婦人科
 2) 長崎大学 臨床検査医学
 3) 長崎市民病院 検査部
 4) 長崎大学 小児科
 5) 長崎大学 原研遺伝
- O-2 HTLV-1 抗体陽性妊婦からの出生児のコホート研究 中間報告24
 板橋 家頭夫
 昭和大学 医学部 小児科
- O-3 自治体との連携による HTLV-1 ウイルス関連疾患診療ネットワーク構築の試み25
 末岡 榮三朗^{1,2)}、柘植 薫¹⁾、福島 伯泰³⁾、久保田 寧^{1,2)}、吉原 麻里²⁾、蒲池 和晴²⁾、北村 浩晃²⁾、板村 英和²⁾、
 吉村 麻里子²⁾、進藤 岳郎²⁾、安藤 寿彦²⁾、出勝²⁾、横尾 眞子²⁾、一戸 辰夫⁴⁾、木村 晋也²⁾
 1) 佐賀大学 医学部附属病院検査部
 2) 佐賀大学 医学部 血液・呼吸器・腫瘍内科
 3) 国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 医学検査学科
 4) 広島大学 原爆放射線医科学研究所 血液・腫瘍内科研究分野
- O-4 HTLV-1 感染リスクの推定：性感染は弱くない25
 江島 伸興¹⁾、田畑 稔²⁾
 1) 大分大学
 2) 大阪府立大学
- O-5 ATL 患者の多重がんの発生頻度と発生間隔26
 歌田 真依¹⁾、大野 ゆう子¹⁾、堀 芽久美¹⁾、岩永 正子²⁾、上平 憲³⁾、早田 みどり⁴⁾
 1) 大阪大学大学院 医学系研究科
 2) 長崎大学大学院 医歯薬総合研究科
 3) 長崎市立市民病院
 4) 放射線影響研究所
- O-6 HTLV-1 感染と気管支喘息死亡との関連：地域相関研究26
 岩永 正子¹⁾、佐竹 正博²⁾、山口 一成³⁾
 1) 帝京大学大学院 公衆衛生学研究科
 2) 日本赤十字社 中央血液研究所
 3) 国立感染症研究所

15:30-15:45 Coffee Break

15:45-16:45

一般演題口演：免疫・HAMほか

- O-7 HTLV-1 感染者が産生する中和抗体について.....27
相良 康子¹⁾、井上 由紀子¹⁾、守田 麻衣子¹⁾、後藤 信代¹⁾、岩永 正子²⁾、渡邊 俊樹³⁾、清川 博之¹⁾
1) 日本赤十字社 九州ブロック血液センター
2) 帝京大学大学院 公衆衛生学
3) 東京大学大学院 新領域創成科学研究科・病態医療科学
- O-8 抗HTLV-1ヒト免疫グロブリンによる *in vitro* のHTLV-1 感染抑制効果とその有効性の検討.....27
野島 清子¹⁾、水上 拓郎¹⁾、倉光 球¹⁾、大隈 和¹⁾、松本 千恵子²⁾、蕎麦田 理英子²⁾、佐竹 正博²⁾、田所 憲治²⁾、
山口 一成³⁾、浜口 功¹⁾
1) 国立感染症研究所 血液・安全性研究部
2) 日本赤十字社 中央血液研究所
3) 熊本大学 医学部
- O-9 HTLV-1 感染T細胞に対するインターフェロン- α /AZT 併用効果の分子メカニズム28
金原 秀一¹⁾、木地山 真実¹⁾、高森 絢子¹⁾、長谷川 温彦¹⁾、田中 勇悦²⁾、宇都宮 與³⁾、神奈木 真理¹⁾
1) 東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 免疫治療学分野
2) 琉球大学大学院 医学研究科免疫学講座
3) 慈愛会今村病院分院 血液内科
- O-10 正常末梢血単核球群のHTLV-1 感染混合培養系におけるNK細胞の同期増殖：
HTLV-1 がヒトと共存するためのフィードバック機構？.....28
田中 勇悦、高橋 良明、田中 礼子
琉球大学大学院 医学研究科 免疫学講座
- O-11 HTLV-1 HBZ 特異的 CTL エピトープの探索.....29
久保田 龍二¹⁾、高嶋 博²⁾、出雲 周二¹⁾
1) 鹿児島大学 難治ウイルス研
2) 鹿児島大学 神経内科
- O-12 HAM におけるHTLV-1 標的遺伝子 CCL1/I-309 の病因的意義とその制御.....29
齊藤 峰輝¹⁾、塩浜 康雄¹⁾、後川 潤¹⁾、高嶋 博²⁾
1) 川崎医科大学 微生物学
2) 鹿児島大学 神経内科・老年病学

16:45-18:00

ポスターディスカッション

18:00-20:00 懇親会

8月25日(日) 第6回 HTLV-1 研究会・公開シンポジウム

9:00-10:00

一般演題口演：ATL の基礎研究

- O-13 Tax 結合蛋白 USP10 は亜ヒ酸による HTLV-1 感染細胞のアポトーシスを制御する30
高橋 雅彦、樋口 雅也、藤井 雅寛
新潟大学大学院 医歯学総合研究科
- O-14 HTLV-1 bZIP factor (HBZ) は転写因子 FoxO3a の機能を阻害することによりアポトーシスを抑制する30
田中 梓、安永 純一郎、高井 賢、松岡 雅雄
京都大学 ウイルス研究所 ウイルス制御研究領域
- O-15 ユビキチン化修飾酵素 A20 は HTLV-1 感染細胞の細胞死を抑制する31
鶴山 恵理¹⁾、斉藤 愛記¹⁾、持田 佳奈子¹⁾、大迫 美穂¹⁾、宇野 雅哉²⁾、山岡 昇司¹⁾
1) 東京医科歯科大学 ウイルス制御学
2) 東京医科歯科大学 生殖機能協働学
- O-16 NDRG2 は PP2A リクルーターとして PTEN 及び NIK 活性調節に関わる31
市川 朝永¹⁾、中畑 新吾¹⁾、藤井 雅寛²⁾、伊波 英克³⁾、森下 和広¹⁾
1) 宮崎大学 医学部機能制御学 講座腫瘍生化学分野 HTLV-1/ATL 総合診療教育ファシリティ
2) 新潟大学 医歯学総合研究科 ウイルス学分野
3) 大分大学 医学部 微生物学講座
- O-17 MAGI-1 の不活化は HTLV-1 の Tax による T 細胞のトランスフォーメーションに関与する32
藤井 雅寛、Makokha Grace Naswa、樋口 雅也、高橋 雅彦
新潟大学大学院 医歯学総合研究科 ウイルス学教室
- O-18 新たな ATL マウスモデルである HBZ トランスジェニックマウスにおける ATL がん幹細胞同定の試み32
栗林 和華子^{1,2)}、水上 拓郎²⁾、滝澤 和也²⁾、倉光 球²⁾、百瀬 暖佳²⁾、菅田 謙治³⁾、浅田 善久¹⁾、松岡 雅雄³⁾、濱口 功²⁾
1) 東京理科大学 薬学部
2) 国立感染症研究所 血液・安全性研究部
3) 京都大学 ウイルス研究所 ウイルス制御研究領域

10:00-10:15 Coffee Break

10:15-11:15

一般演題口演：ATL 診断・病態・治療

- O-19 血中可溶性 CADM1/TSLC1 測定による ATL 診断法の開発33
中武 彩子¹⁾、小林 行治²⁾、西片 一郎¹⁾、中畑 新吾¹⁾、岩永 正子³⁾、相良 康子⁴⁾、北中 明⁵⁾、天野 正宏⁶⁾、前田 宏一⁷⁾、
末岡 榮三朗⁸⁾、瀬戸山 充⁶⁾、岡山 昭彦⁹⁾、宇都宮 與¹⁰⁾、下田 和哉⁵⁾、渡邊 俊樹¹¹⁾、森下 和広¹⁾
1) 宮崎大学医学部 機能制御学講座腫瘍生化学分野・HTLV-1/ATL 総合診療教育ファシリティ
2) アドテック株式会社
3) 帝京大学大学院 公衆衛生学研究科
4) 日本赤十字社 九州ブロック血液センター
5) 宮崎大学医学部 内科学講座消化器血液分野
6) 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座皮膚科学分野
7) 国立病院機構 都城病院
8) 佐賀大学 医学部付属病院輸血部
9) 宮崎大学医学部内科学講座免疫感染病態学分野
10) 今村病院分院 血液内科
11) 東京大学医科学研究所

- O-20 可溶性サイトカイン受容体血中濃度上昇は結果でなく成人T細胞白血病・リンパ腫の発症・進展・増悪に関わる33
 武本 重毅^{1,2)}、Ratiorn Pornkuna^{2,3)}、鷗澤 耕治⁴⁾、守田 和樹⁴⁾、日高 道弘^{3,5)}、芳賀 克夫^{2,3)}、河野 文夫⁵⁾、
 岩永 正子^{6,7)}、相良 康子^{6,8)}、渡邊 俊樹^{6,9)}
 1) 国立病院機構 熊本医療センター 臨床検査科
 2) 熊本大学大学院 医学教育部 臨床国際協力学分野
 3) 国立病院機構熊本医療センター 臨床研究部
 4) 協和メデックス (株) 研究所
 5) 国立病院機構 熊本医療センター 血液内科
 6) JSPFAD
 7) 帝京大学大学院 公衆衛生学研究科
 8) 日本赤十字社 九州ブロック血液センター
 9) 東京大学大学院 新領域創成科学研究科
- O-21 Development and validation of a new high-throughput method to investigate
 T-cell-clonality and integration site preference among HTLV-1-infected individuals34
 Firouzi Sanaz、矢持 忠徳、Lopez Yosvany、鈴木 穰、中井 謙太、菅野 純夫、渡邊 俊樹
 東京大学大学院 新領域創成科学研究科
- O-22 HAS-Flow 法を用いた HTLV-1 キャリア / くすぶり型 ATL 境界の検討34
 小林 誠一郎¹⁾、渡辺 恵理²⁾、石垣 知寛²⁾、中野 和民³⁾、矢持 忠徳³⁾、山岸 誠³⁾、浅沼 里実³⁾、大野 伸広⁴⁾、
 湯地 晃一郎⁴⁾、渡辺 信和²⁾、東條 有伸^{1,4)}、渡邊 俊樹³⁾、内丸 薫⁴⁾
 1) 東大医科研 分子療法分野
 2) 東大医科研 病態解析領域
 3) 東大院 新領域創成科学研究科
 4) 東大医科研附属病院 血液腫瘍内科
- O-23 HTLV-1 キャリアにおける CD4/25/30 陽性細胞は核形態異常を伴う35
 中島 誠^{1,2)}、東原 正明¹⁾、渡邊 俊樹²⁾、堀江 良一¹⁾
 1) 北里大学 医学部 血液内科
 2) 東京大学 新領域メディカルゲノム
- O-24 成人T細胞白血病リンパ腫に対する HSP 90 阻害薬 NVP-AUY922 の抗腫瘍効果35
 谷口 広明¹⁾、長谷川 寛雄²⁾、佐々木 大介²⁾、安東 恒史¹⁾、澤山 靖¹⁾、今西 大介¹⁾、今泉 芳孝¹⁾、田口 潤¹⁾、
 波多 智子¹⁾、塚崎 邦弘³⁾、森 直樹⁴⁾、柳原 克紀²⁾、宮崎 泰司¹⁾
 1) 長崎大学病院 血液内科
 2) 長崎大学病院 検査部
 3) 国立がん研究センター東病院 血液腫瘍科
 4) 琉球大学大学院 医学研究科微生物学・腫瘍学講座

11:15-13:00

ポスターセッション (共催：セルジーン株式会社)

13:00-13:50

一般演題口演: HAM・ATL の臨床

- O-25 脳脊髄液プロテオーム解析による
 ヒトTリンパ好性ウイルス関連脊髄症 (HAM/TSP) に対する重症度診断アルゴリズムの構築36
 石原 誠人¹⁾、新谷 奈津美²⁾、佐藤 知雄²⁾、宇都宮 興³⁾、山野 嘉久²⁾、中川 英刀¹⁾、植田 幸嗣¹⁾
 1) 理化学研究所 統合生命医科学研究センター
 2) 聖マリアンナ医科大学 難病治療研究センター
 3) 慈愛会今村病院分院
- O-26 HAM の歩行障害に対するロボットスーツ HAL の治験準備研究と戦略36
 中島 孝、遠藤 寿子、池田 哲彦
 国立病院機構新潟病院 神経内科

- O-27 リンパ腫型 ATL に対する造血幹細胞移植後に生じ、中枢神経再発との鑑別を要した HAM 様脊髄炎の一例.....37
 川俣 豊隆¹⁾、大野 伸広¹⁾、佐藤 広太^{1,2)}、小林 真之^{1,2)}、湯地 晃一郎¹⁾、田野崎 隆二³⁾、山野 嘉久⁴⁾、内丸 薫¹⁾、
 東條 有伸^{1,2)}
 1) 東京大学医科学研究所 附属病院 血液腫瘍内科
 2) 同研究所 先端医療研究センター 分子療法分野
 3) 国立がん研究センター 輸血療法科
 4) 聖マリアンナ医科大学 難病治療研究センター 病因・病態解析部門
- O-28 成人 T 細胞白血病/リンパ腫 (ATL) における特異的 DNA メチル化と予後との相関.....37
 佐藤 妃映¹⁾、岡 剛史²⁾、Lamia Abd Al-Kader²⁾、神農 陽子²⁾、鷺尾 佳奈²⁾、村上一郎⁴⁾、大内田 守³⁾、宇都宮 與⁵⁾、
 高橋 聖之¹⁾、吉野 正²⁾
 1) 岡山大学大学院 保健学研究科
 2) 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科病理学分野 (腫瘍病理/第二病理)
 3) 岡山大学大学院 分子遺伝学分野
 4) 鳥取大学 医学部 分子病理学分野
 5) 慈愛会今村病院 分院血液内科
- O-29 ATL の皮膚病変に対するモガムリズマブの効果と皮膚障害の検討.....38
 米倉 健太郎¹⁾、川上 延代¹⁾、神崎 保¹⁾、坂江 清弘²⁾、高塚 祥芝³⁾、中野 伸亮³⁾、徳永 雅仁³⁾、窪田 歩³⁾、竹内 昇吾³⁾、
 宇都宮 與³⁾
 1) 今村病院分院 皮膚科
 2) 今村病院分院 病理診断科
 3) 今村病院分院 血液内科

13:50-14:15 Coffee Break

14:15-16:15

公開シンポジウム

「知って下さい HTLV-1 を」一聞いて！活かして！キャリア・患者の本音ー

司 会：菅付加代子 (特定非営利活動法人 スマイルリボン代表)

パネリスト：神崎 稔章 (ATL ネット会員)、久保田 孝子 (全国 HAM 患者友の会関東支部長)、
 蒲生 未知夫 (スマイルリボン会員)、池上 真弓 (キャリアママの会 カランコエかごしま代表)

課題

- 1、(現状) 困ったことー診断～治療・相談
- 2、(要望) 求めたいことー行政、診療、研究、
- 3、(対策) それぞれの立場でできることー医者、患者、キャリア、行政

16:15-16:20

閉会の挨拶

ポスター発表

24日 フラッシュトーク 11:00-12:00・ポスターセッション 12:30-14:00・ポスターディスカッション 16:45-18:00
 25日 ポスターセッション 11:15-13:00

- P-1 神経内科における13年間のHTLV-1キャリア外来の実態.....40
 松崎 敏男¹⁾、久保田 龍二¹⁾、齊藤 峰輝²⁾、高嶋 博³⁾、出雲 周二¹⁾
 1) 鹿児島大学 難治ウイルス病態制御研究センター 分子病理病態
 2) 川崎医科大学 微生物学
 3) 鹿児島大学 神経内科・老年病学
- P-2 母乳の重要性とHTLV-1キャリア妊婦減少における母子感染対策.....40
 前濱 俊之¹⁾、江島 伸興²⁾
 1) 豊見城中央病院 産婦人科
 2) 大分大学 医学部 数学・統計学講座
- P-3 HTLV-1専門外来におけるHTLV-1陽性妊婦へのカウンセリングの現状.....41
 柘植 薫¹⁾、木村 晋也²⁾、末岡 榮三朗^{1,2)}
 1) 佐賀大学 医学部 附属病院検査部
 2) 佐賀大学 医学部 血液・呼吸器・腫瘍内科
- P-4 ウェスタンブロット法で判定保留となった献血者のHTLV-1抗体およびプロウイルス遺伝子の解析.....41
 蕎麦田 理英子¹⁾、松本 千恵子¹⁾、内田 茂治¹⁾、鈴木 雅治²⁾、佐竹 正博¹⁾、田所 憲治¹⁾
 1) 日本赤十字社 血液事業本部 中央血液研究所
 2) 日本赤十字社 関東甲信越ブロック血液センター
- P-5 日中韓越由来母乳を用いたHTLV-1抗体検出の試み.....42
 松原 大¹⁾、相良 康子²⁾、原口 浩一³⁾
 1) 第一薬科大学 免疫薬品学研究室
 2) 日本赤十字社 九州ブロック血液センター
 3) 第一薬科大学 分析化学研究室
- P-6 当院におけるJSPFAD登録HTLV-1感染者の検討.....42
 徳永 雅仁¹⁾、中野 伸亮¹⁾、窪田 歩¹⁾、徳永 真弓¹⁾、糸山 貴浩¹⁾、竹内 昇吾¹⁾、高塚 祥芝¹⁾、相良 康子²⁾、宇都宮 與¹⁾
 1) 公益財団法人慈愛会 今村病院分院 血液内科
 2) 日本赤十字社 九州ブロック血液センター
- P-7 Taxトランスジェニックマウスに観察されたHAM様マウスと中毒性皮膚壊死症(TEN)様疾患.....43
 大杉 剛生¹⁾、若宮 誠¹⁾、森川 沙樹¹⁾、熊坂 利夫²⁾、山口 一成³⁾
 1) 熊本大学 生命資源研究・支援センター
 2) 日赤医療センター 病理部
 3) 国立感染症研究所 血液・安全性研究部
- P-8 成人T細胞白血病・リンパ腫(ATL)細胞の光動力学的反応による特異的細胞死の誘導.....43
 岡 剛史¹⁾、藤田 洋史²⁾、Lamia Abd Al-Kader¹⁾、村上 一郎³⁾、宇都宮 與⁴⁾、吉野 正¹⁾
 1) 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 腫瘍病理学分野
 2) 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 細胞組織学分野
 3) 鳥取大学 医学部 分子病理
 4) 慈愛会今村病院分院
- P-9 レクチンマイクロアレイによる腫瘍特異的LGI値の特定.....44
 伊波 英克¹⁾、池辺 詠美¹⁾、緒方 正男²⁾、手塚 健太³⁾、松本 昂¹⁾、八尋 隆明¹⁾、末岡 榮三朗⁴⁾、堀 光雄⁵⁾、
 長谷川 寛雄⁶⁾、森下 和広⁷⁾、田中 勇悦⁸⁾、藤澤 順一³⁾、西園 晃¹⁾
 1) 大分大学 医学部 微生物学講座
 2) 大分大学 医学部 血液内科
 3) 関西医科大学 医学部 微生物学講座
 4) 佐賀大学 医学部 血液内科
 5) 茨城県立中央病院 血液内科
 6) 長崎大学 病院検査部
 7) 宮崎大学 医学部 機能制御学講座腫瘍生化学分野
 8) 琉球大学 医学部 免疫学講座
- P-10 TAX1BP1のGC-box依存的発現制御.....44
 池辺 詠美¹⁾、八尋 隆明¹⁾、松本 昂¹⁾、緒方 正男²⁾、堀 光雄³⁾、田中 勇悦⁴⁾、西園 晃¹⁾、伊波 英克¹⁾
 1) 大分大学 医学部 微生物学講座
 2) 大分大学 医学部 血液内科
 3) 茨城県立中央病院 血液内科
 4) 琉球大学 医学部 免疫学講座

- P-11 ATL 細胞における CADM1 高発現は HTLV-1 Tax を含む NF- κ B 活性化に依存する45
 西片 一朗¹⁾、市川 朝永¹⁾、中畑 新吾¹⁾、藤井 雅寛²⁾、伊波 英克³⁾、白神 俊幸^{1,4)}、田中 勇悦⁵⁾、森下 和広¹⁾
 1) 宮崎大学 医学部 機能制御学講座 腫瘍生化学分野
 2) 新潟大学 医歯学総合研究科 ウイルス学分野
 3) 大分大学 医学部 微生物学講座
 4) ノートルダム清心女子大学 人間生活学部 食品栄養学科
 5) 琉球大学 大学院医学研究科 免疫学講座
- P-12 成人 T 細胞白血病において肝細胞増殖因子 HGF はバイオマーカーとなり得るか45
 佐々木 大介¹⁾、長谷川 寛雄^{1,3)}、今泉 芳孝²⁾、桐生 麻友¹⁾、谷口 広明²⁾、宇野 直輝^{1,3)}、森永 芳智^{1,3)}、宮崎 泰司²⁾、
 柳原 克紀^{1,3)}
 1) 長崎大学 病院検査部
 2) 長崎大学 病院血液内科
 3) 長崎大学 医歯薬学総合研究科
- P-13 HAM/TSP の CD4+T 細胞における糖鎖の特徴46
 児玉 大介¹⁾、出雲 公子¹⁾、久保田 龍二¹⁾、松崎 敏男²⁾、高嶋 博³⁾、出雲 周二¹⁾
 1) 鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科難治ウイルス病態制御研究センター 分子病理
 2) 医療法人三州会大勝病院 神経内科
 3) 鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 神経病学
- P-14 成人 T 細胞白血病細胞におけるポリコムタンパク質の過剰発現機構の解析46
 中川 翔太¹⁾、山岸 誠¹⁾、藤川 大¹⁾、中野 和民¹⁾、宇都宮 與²⁾、内丸 薫³⁾、渡邊 俊樹¹⁾
 1) 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 病態医療科学分野
 2) 公益財団法人慈愛会 今村病院分院 血液内科
 3) 東京大学 医科学研究所付属病院 血液腫瘍内科
- P-15 成人 T 細胞白血病/リンパ腫細胞は正常上皮細胞との接着によってがん幹細胞様の特性を獲得する47
 宮武 由甲子¹⁾、André L.A. Oliveira²⁾、外丸 詩野¹⁾、豊嶋 崇徳³⁾、William W. Hall²⁾、笠原 正典¹⁾
 1) 北海道大学大学院 医学研究科 分子病理学分野
 2) Centre for Research in Infectious Diseases, UCD, Dublin, Ireland
 3) 北海道大学大学院 医学研究科 血液内科学分野
- P-16 宿主 mRNA 品質管理機構 (NMD) 抑制を司る HTLV-1 Rex の機能ドメインの解明47
 唐澤 伸明、中野 和民、安東 友美、橋爪 大明、横山 弘一、渡邊 俊樹
 東京大学大学院 新領域創成科学研究科
- P-17 成人 T 細胞白血病 (ATL) における、がん幹細胞微小環境の組織病理学的同定の試み48
 若林 翼¹⁾、矢持 忠徳¹⁾、矢持 淑子¹⁾、佐々木 陽介²⁾、Sanaz Firouzi¹⁾、龍本 雅文²⁾、渡邊 俊樹¹⁾
 1) 東京大学大学院 新領域創成科学研究科
 2) 昭和大学 医学部 病理学講座臨床病理診断学部門
- P-18 ATL 細胞における p38 シグナル伝達系の異常と NF- κ B 経路への影響の解析48
 酒井 直規¹⁾、山岸 誠¹⁾、藤川 大¹⁾、中野 和民¹⁾、宇都宮 與²⁾、内丸 薫³⁾、渡邊 俊樹¹⁾
 1) 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 病態医療科学分野
 2) 公益財団法人慈愛会 今村病院分院 血液内科
 3) 東京大学 医科学研究所付属病院 血液腫瘍内科
- P-19 ATL における Tumor initiating cell 探索の試み49
 矢持 忠徳¹⁾、守田 陽平²⁾、矢持 淑子³⁾、Sanaz Firouzi¹⁾、佐々木 陽介³⁾、渡辺 信和²⁾、内丸 薫⁴⁾、宇都宮 與⁵⁾、
 渡邊 俊樹¹⁾
 1) 東京大学大学院 新領域創成科学研究科
 2) 東京大学 医科学研究所 幹細胞治療部門
 3) 昭和大学 医学部 臨床病理診断部門
 4) 東京大学 医科学研究所 血液腫瘍内科
 5) 慈愛会今村病院分院
- P-20 HTLV-1 impairs the function of regulatory T cells49
 Miyazato Paola¹⁾、佐藤 賢文¹⁾、山口 智之^{2,3)}、大島 孝一⁴⁾、大倉 永也²⁾、中川 正法⁵⁾、坂口 志文^{2,3)}、松岡 雅雄¹⁾
 1) 京都大学 ウイルス研究所 ウイルス制御研究領域
 2) 大阪大学 免疫学フロンティア研究センター
 3) 京都大学 再生科学研究所 生体機能調節学分野
 4) 久留米大学 医学部 病理学教室
 5) 京都府立医科大学大学院 医学研究科 神経病態制御学

- P-21 **新規 SIRT1 阻害剤による白血病細胞の増殖抑制効果に関する検討**50
 馬島 礼¹⁾、小迫 知弘¹⁾、鈴木 孝禎²⁾、相川 晃慶¹⁾、本田 伸一郎¹⁾、吉満 誠³⁾、有馬 直道³⁾、添田 泰司¹⁾
 1) 福岡大学 薬学部
 2) 京都府立医科大学
 3) 鹿児島大学 医学部
- P-22 **AMPK 活性化剤による新規成人 T 細胞白血病治療法の検討**50
 横松 恵里佳¹⁾、相川 晃慶¹⁾、小迫 知弘¹⁾、吉満 誠²⁾、魚住 公治²⁾、有馬 直道²⁾、本田 伸一郎¹⁾、添田 泰司¹⁾
 1) 福岡大学 薬学部
 2) 鹿児島大学 医学部
- P-23 **PP2A は ATL の治療標的分子か?**51
 森 直樹¹⁾、石川 千恵²⁾
 1) 琉球大学 医学研究科 微生物学・腫瘍学講座
 2) 琉球大学 亜熱帯島嶼科学超域研究推進機構
- P-24 **ATL 細胞マーカー TSLC1 に特異的かつ高親和性に結合する CRTAM 変異体の創薬への応用**51
 大隈 和¹⁾、長谷川 玲子²⁾、日吉 真照¹⁾、堀澤 健一²⁾、土居 信英²⁾、森下 和広³⁾、浜口 功¹⁾
 1) 国立感染症研究所 血液・安全性研究部
 2) 慶應義塾大学大学院 理工学研究科
 3) 宮崎大学 医学部 機能制御学講座
- P-25 **HTLV-1 関連脊髄症 (HAM) の治療標的としての CCR4+CD4+T 細胞**52
 佐藤 知雄、新谷 奈津美、安藤 仁、Ariella Coler-Reilly、山内 淳司、八木下 尚子、山野 嘉久
 聖マリアンナ医科大学 難病治療研究センター 病因・病態解析部門
- P-26 **HTLV-1 陽性関節リウマチ患者に対する抗 TNF 療法**52
 宮内 俊一
 宮崎大学医学部内科学講座免疫感染病態学分野
- P-27 **HAM 患者における IFN 及びステロイド治療の有効性に関する後ろ向き研究**53
 竹之内 徳博¹⁾、藤澤 順一¹⁾、中川 正法²⁾、日下 博文¹⁾
 1) 関西医科大学
 2) 京都府立医科大学
- P-28 **HTLV-1 キャリアーの末梢血組織標本での ATL 発症早期の病的状態の検索計画**53
 蓮井 和久¹⁾、宇都宮 與^{1,2)}、永井 拓¹⁾、松山 隆美¹⁾、出雲 周二¹⁾
 1) 鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科
 2) 公益財団法人慈愛会 今村病院分院
- P-29 **妊娠と分娩後における HTLV-1 プロウイルス量の推移に関する検討**54
 淵 直樹¹⁾、三浦 清徳¹⁾、築山 尚史¹⁾、猪口 直子²⁾、佐々木 大介²⁾、上平 憲³⁾、柳原 克紀²⁾、森内 浩幸⁴⁾、
 吉浦 孝一郎⁵⁾、増崎 英明¹⁾
 1) 長崎大学 産婦人科
 2) 長崎大学 臨床検査医学
 3) 長崎市民病院 検査部
 4) 長崎大学 小児科
 5) 長崎大学 原研遺伝
- P-30 **The "HAM-net" HAM/TSP Patient Registration System and its Applications:
 A Sampling of Epidemiological Findings in Japan**54
 Ariella L. G. Coler-Reilly¹⁾, Michiyo Hashimoto²⁾, Naoko Yagishita¹⁾, Tomoo Sato¹⁾, Hitoshi Ando¹⁾,
 Junji Yamauchi¹⁾, Natsumi Araya¹⁾, Miyako Kimura²⁾, Yoshihisa Yamano¹⁾, and Ayako Takata²⁾
 1) Department of Research on Rare Diseases, Institute of Medical Science, St. Marianna University School of Medicine
 2) Department of Preventive Medicine, St. Marianna University School of Medicine
- P-31 **家族性 HAM の臨床的解析**55
 野妻 智嗣¹⁾、松浦 英治¹⁾、松崎 敏男²⁾、渡邊 修¹⁾、久保田 龍二²⁾、出雲 周二²⁾、高嶋 博¹⁾
 1) 鹿児島大学大学院 神経病学講座 神経内科・老年病学
 2) 鹿児島大学大学院 難治ウイルス病態制御研究センター 分子病理病態研究分野

資料 5 平成 25 年度 HTLV-1 関連疾患研究領域研究班合同発表会ポスター



HTLV-1 関連疾患研究領域 研究班合同発表会

平成25年度
厚生労働科学研究費

2014年 **2月8日** (土) 9:30-16:15

東京大学医科学研究所附属病院棟8階トミーホール 東京都港区白金台4-6-1

9:30-9:35 【開会の挨拶】 渡邊 俊樹 東京大学大学院 新領域創成科学研究科

Session I 9:35-10:35	
板橋 家頭夫	昭和大学 医学部 HTLV-1母子感染予防に関する研究：HTLV-1抗体陽性妊婦からの出生児のコホート研究
増崎 英明	長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 25年間継続した妊婦のHTLV-1抗体検査から得られた母子感染予防効果の検証 および高精度スクリーニングシステム開発
岡山 昭彦	富崎大学 医学部 HTLV-1関連希少難治性疾患における臨床研究の全国展開と基盤整備
楠 進	近畿大学 医学部 免疫性神経疾患に関する調査研究
浜口 功	国立感染症研究所 HTLV-1感染症の診断法の標準化と発症リスクの解明に関する研究
松岡 雅雄	京都大学 ウイルス研究所 HTLV-1関連炎症性希少疾患の病態解析と免疫療法開発研究
【休憩…10分】	
Session II 10:45-11:55	
上野 孝治	関西医科大学 医学部 HTLV-1感染モデルを用いた抗HTLV-1薬の探索および作用機序の解析
田中 勇悦	琉球大学大学院 医学研究科 HTLV-1感染拡大を阻止するワクチンならびに抗体医薬等の開発基盤の確立
駒野 淳	大阪府立公衆衛生研究所 プロウイルスゲノム破壊による革新的HTLV-1関連疾患発症遅延法の開発
長谷川 秀樹	国立感染症研究所 HTLV-1感染症予防ワクチンの開発に関する研究
水上 拓郎	国立感染症研究所 抗HTLV-1ヒト免疫グロブリンによるHTLV-1の革新的感染モデルの開発とその有効性の検証
山野 嘉久	聖マリアンナ医科大学 難病治療研究センター HAMの革新的な治療法となる抗CCR4抗体療法の実用化に向けた開発
高嶋 博	鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 次世代遺伝子解析技術を用いた希少難治性疾患の原因究明及び病態解明に関する研究
【昼食…85分】	
Session III 13:20-14:40	
松田 文彦	京都大学 ゲノム医学センター 網羅的統合オミックス解析を用いた難病の原因究明と新規診断・治療法の確立
松田 文彦	京都大学 ゲノム医学センター 難病・がん等の疾患分野の医療の実用化研究事業の成果を基にした原因遺伝子変異データベースの構築
内丸 薫	東京大学 医科学研究所 HTLV-1キャリア・ATL患者に対する相談機能の強化と正しい知識の普及の促進
渡邊 俊樹	東京大学大学院 新領域創成科学研究科 ATL克服に向けた研究の現状調査と進捗状況把握にもとづく効率的な研究体制の構築に関する研究
塚崎 邦弘	国立がん研究センター 東病院 ATLの診療実態・指針の分析による診療体制の整備
有馬 直道	鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 多発地域における成人T細胞白血病リンパ腫に対する重ヒ酸インターフェロン およびジドブジン三者併用療法の第II相試験
塚崎 邦弘	国立がん研究センター 東病院 成人T細胞白血病リンパ腫に対するインターフェロンαとジドブジン併用療法の有用性の検証
石塚 賢治	福岡大学 医学部 ボルテゾミブによる成人T細胞白血病/リンパ腫(ATL) 救療法の医師主導治験
【休憩…15分】	
Session IV 14:55-15:45	
森下 和広	宮崎大学 医学部 ヒトATL及びHBZトランスジェニックATL発症マウスを用いた比較ゲノム解析によるATL発症機構の解析
瀬戸 加大	愛知県がんセンター研究所 ATLの腫瘍化並びに急性転化、病型変化に関連する遺伝子群の探索と病態への関与の研究
村上 善則	東京大学 医科学研究所 細胞接着・運動性経路を標的としたATL細胞の浸潤、増殖抑制医薬品開発のための基礎研究
石田 高司	名古屋市立大学大学院医学研究科 がん・精巢抗原を標的としたATLに対する新規免疫療法の開発
渡邊 俊樹	東京大学大学院 新領域創成科学研究科 miRNAを用いたATLがん幹細胞特異的新規治療法の開発
15:45-16:15 【総合討論…30分】	
16:30-17:30 【ATL総括班班会議】「ATL克服に向けた研究の現状調査と進捗状況把握にもとづく効率的な研究体制の構築に関する研究」	

問い合わせ先 渡邊 俊樹

東京大学大学院新領域創成科学研究科 渡邊研究室内 〒108-8639 東京都港区白金台4-6-1
Phone : 03-5449-5298 FAX : 03-5449-5418 http://htlv.umin.jp/

入場無料
来聴歓迎

資料 6 平成 25 年度 HTLV-1 関連疾患研究領域研究班合同発表会抄録集 (目次)

9:30-9:35

「総括班」班長挨拶

開会の挨拶 渡邊俊樹

Session I

- 9:35-9:45 HTLV-1 母子感染予防に関する研究：
HTLV-1 抗体陽性妊婦からの出生児のコホート研究 中間報告4
板橋家頭夫 昭和大学医学部小児科
- 9:45-9:55 25 年間継続した妊婦の HTLV-1 抗体検査から得られた母子感染予防効果の検証および
高精度スクリーニングシステム開発.....5
増崎英明 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
- 9:55-10:05 HTLV-1 関連希少難治性疾患における臨床研究の全国展開と基盤整備6
岡山昭彦 宮崎大学医学部
- 10:05-10:15 免疫性神経疾患に関する調査研究 —HAM の病態解明と治療法の開発に向けての研究—7
楠 進 近畿大学医学部神経内科
- 10:15-10:25 HTLV-1 感染症の診断法の標準化と発症リスクの解明に関する研究8
浜口 功 国立感染症研究所
- 10:25-10:35 HTLV-1 関連炎症性希少疾患の病態解析と免疫療法開発研究9
松岡雅雄 京都大学ウイルス研究所
- 10:35-10:45 休憩

Session II

- 10:45-10:55 HTLV-1 感染モデルを用いた抗 HTLV-1 薬の探索および作用機序の解析10
上野孝治 関西医科大学医学部
- 10:55-11:05 HTLV-1 感染拡大を阻止するワクチンならびに抗体医薬等の開発基盤の確立11
田中勇悦 琉球大学大学院医学研究科
- 11:05-11:15 プロウイルスゲノム破壊による革新的 HTLV-1 関連疾患発症遅延法の開発12
駒野 淳 大阪府立公衆衛生研究所
- 11:15-11:25 HTLV-1 感染症予防ワクチンの開発に関する研究13
長谷川秀樹 国立感染症研究所感染病理部
- 11:25-11:35 抗 HTLV-1 ヒト免疫グロブリンによる HTLV-1 の革新的感染モデルの開発とその有効性の検討14
水上拓郎 国立感染症研究所
- 11:35-11:45 HAM の革新的な治療法となる抗 CCR4 抗体療法の実用化に向けた開発15
山野嘉久 聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター
- 11:45-11:55 次世代遺伝子解析技術を用いた希少難治性疾患の原因究明及び病態解明に関する研究16
一次世代シーケンサーを用いた HAM 発症因子の探索—
高嶋 博 鹿児島大学大学院神経病学講座神経内科・老年病学
- 11:55-13:20 昼食

Session III

13:20-13:30	網羅的統合オミックス解析を用いた難病の原因究明と新規診断・治療法の確立.....17 松田文彦 京都大学ゲノム医学センター
13:30-13:40	難病・がん等の疾患分野の医療の実用化研究事業の成果を基にした 原因遺伝子変異データベースの構築.....18 松田文彦 京都大学ゲノム医学センター
13:40-13:50	HTLV-1 キャリア・ATL 患者に対する相談機能の強化と正しい知識の普及の促進.....19 内丸 薫 東京大学医科学研究所附属病院血液腫瘍内科
13:50-14:00	ATL 克服に向けた研究の現状調査と進捗状況把握にもとづく 効率的な研究体制の構築に関する研究.....20 渡邊俊樹 東京大学大学院新領域創成科学研究科
14:00-14:10	ATL の診療実態・指針の分析による診療体制の整備.....21 塚崎邦弘 国立がん研究センター東病院
14:10-14:20	多発地帯における成人 T 細胞白血病リンパ腫に対する亜ヒ酸インターフェロンおよび ジドブジン三者併用療法の第 II 相試験.....22 有馬直道 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
14:20-14:30	成人 T 細胞白血病リンパ腫に対するインターフェロン α とジドブジン併用療法の有用性の検証.....23 塚崎邦弘 国立がん研究センター東病院
14:30-14:40	ボルテゾミブによる成人 T 細胞白血病 / リンパ腫 (ATL) 救援療法の医師主導治験.....24 石塚賢治 福岡大学医学部
14:40-14:55	休憩

Session IV

14:55-15:05	ヒト ATL 及び HBZ トランスジェニック ATL 発症マウスを用いた 比較ゲノム解析による ATL 発症機構の解析.....25 森下和広 宮崎大学医学部
15:05-15:15	ATL の腫瘍化並びに急性転化、病型変化に関連する遺伝子群の探索と病態への関与の研究.....26 瀬戸加大 愛知県がんセンター研究所
15:15-15:25	細胞接着・運動性経路を標的とした ATL 細胞の浸潤、増殖抑制医薬品開発のための基礎研究.....27 村上善則 東京大学医科学研究所
15:25-15:35	がん・精巢抗原を標的とした ATL に対する新規免疫療法の開発.....28 石田高司 名古屋市立大学大学院医学研究科
15:35-15:45	miRNA を用いた ATL がん幹細胞特異的新規治療法の開発.....29 渡邊俊樹 東京大学大学院新領域創成科学研究科
15:45-16:15	

総合討論

16:30-17:30	班会議「ATL 克服に向けた研究の現状調査と進捗状況把握にもとづく効率的な研究体制の構築に関する研究」
-------------	---

資料 7 平成 25 年度 HTLV-1 関連疾患研究領域研究班合同発表会発表スライド

厚生労働科学研究
成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業
(H23-次世代-指定-008)

HTLV-1母子感染予防に関する研究: HTLV-1抗体陽性妊婦からの出生児の コホート研究

昭和大学医学部小児科
板橋 家頭夫

母子感染予防対策効果について

□HTLV-1母子感染予防について明らかになっている点

- 母子感染では3歳までにHTLV-1抗体が陽性
- 長期間の母乳栄養での母子感染率は15~20%
- 人工栄養導入で母子感染率は1/5~1/6に低下
- 人工栄養でも3%の児は抗体陽性(母子感染)

■HTLV-1母子感染予防について明確でない点

- 短期間(生後3か月以内)の母乳栄養の効果
- 冷凍母乳の効果
- WB法による判定保留症例の感染率
- 信頼性の高いHTLV-1ウイルス感染症の検査方法
- 各栄養法による母親の心理的影響・児の成長や発達、およびアレルギー疾患のリスク等

研究の目的

母子感染予防と児の健全な育成の視点に立ち、確認検査でHTLV-1抗体陽性・判定保留妊婦から出生した児の適切な乳汁栄養法を明らかにするとともに、将来の感染者を確実に減少させることを目的とする

研究方法

研究方法の概略

HTLV-1抗体陽性/判定保留妊婦から出生した児のフォローアップ

母体HTLV-1キャリア(判定保留も含む)から出生した児は、地域の中核施設(総合周産期母子医療センターなど)にて1, 3か月、6か月、以後6か月ごとにフォローアップするとともに、必要に応じてカウンセリングも実施。

- 分娩施設からの母体情報
 - ✓ 妊娠分娩歴
 - ✓ 既往歴
 - ✓ HTLV-1抗体検査結果および家族への告知の有無
- 出生児のフォローアップ情報
 - ✓ 家族歴
 - ✓ 成長・発達
 - ✓ アレルギー疾患の有無
 - ✓ その他の疾患・入院歴の有無
 - ✓ 乳汁栄養の種類や摂取状況
 - ✓ 離乳食の有無や摂取状況
 - ✓ 母子関係の評価・エジンバラ産後うつ病評価尺度(1, 3か月)、ストレステスト(1歳)
- 3歳時点のHTLV-1抗体検査結果

ICが得られた段階でWEB登録し、随時情報を入力
3000例の登録を予定

【注】ストレステスト Parenting stress Index (PSI)

研究実施のための準備状況

- 健診・分娩施設に向けての本研究の周知と協力依頼
 - ✓ 日本産婦人科医学会および各自治体のHTLV-1母子感染協議会あるいは周産期医療協議会などを通じて研究の周知
 - ✓ 総合周産期センター、地域周産期センターおよびこれに準ずる施設への協力依頼(現在85施設が倫理委員会承認済)
- HTLV-1母子感染予防のための相談者の養成
 - ✓ 産科・小児科医師、助産師・保健師・看護師を対象とした講習会
 - ✓ オン・デマンドビデオ作成(HP上で掲載)
- WEB登録システム(母体・新生児情報、フォローアップシート)
 - ✓ 登録開始
- 本研究班のホームページの作成
- 判定保留者に対するPCR法による検査体制整備(浜口班との連携)

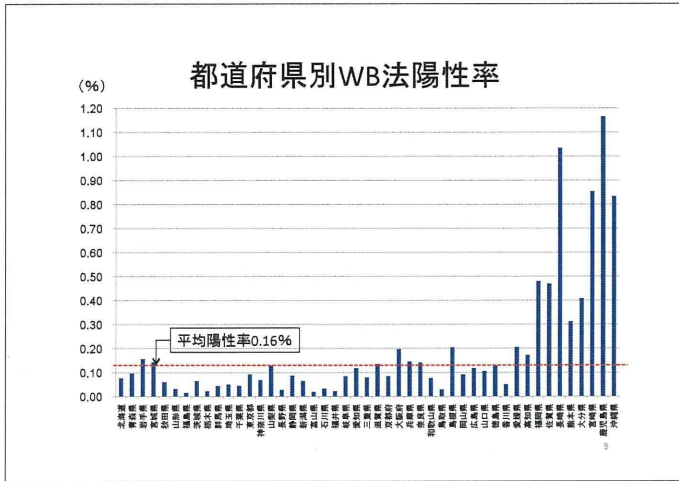
推定されるWB法陽性者数・判定保留者数

平成23年日本産科婦人科学会との共同調査

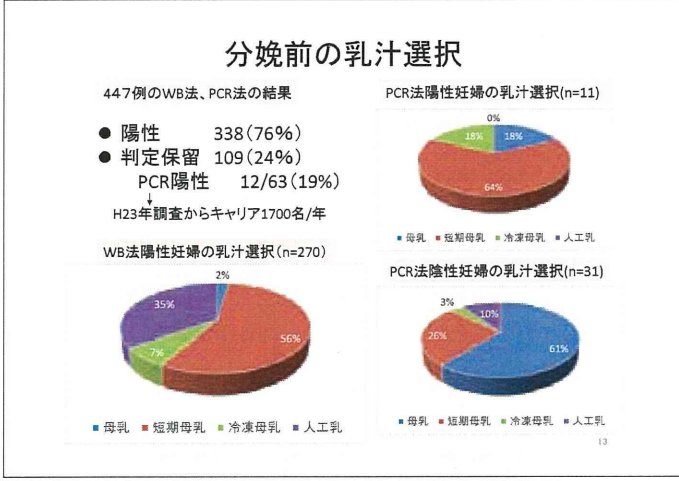
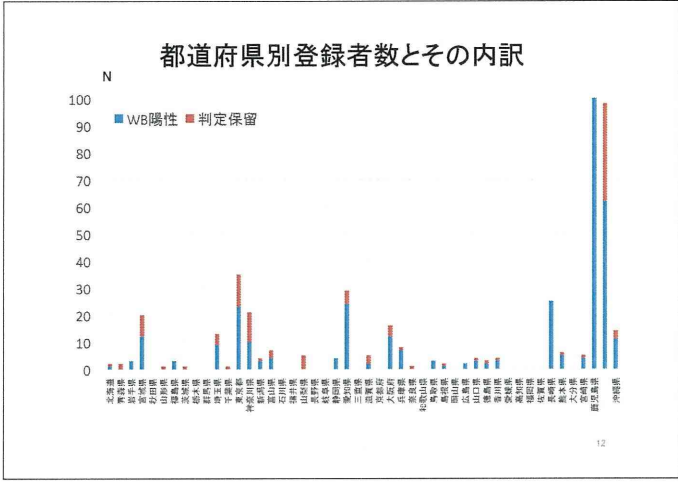
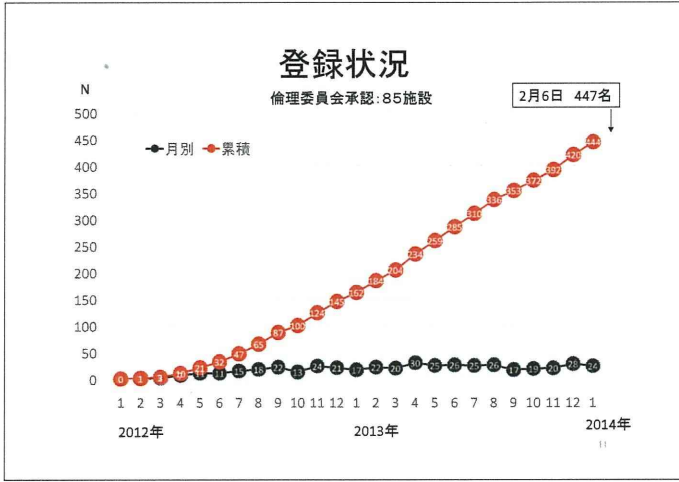
地域	判定保留	WB陽性
北海道・東北	88	30
関東・甲信越	233	118
北陸・東海	89	32
近畿	256	73
中国・四国	111	30
九州・沖縄	657	80

登録施設総分娩数 (N=1,013,545)

推定判定保留者 367名(0.036%)
推定陽性者 1634名(0.16%)



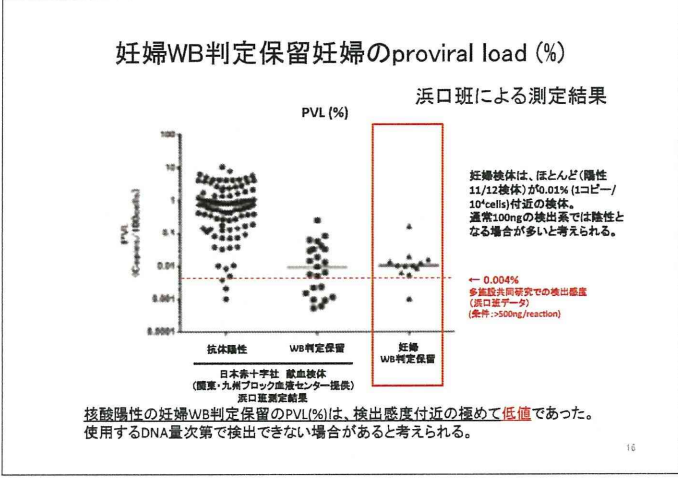
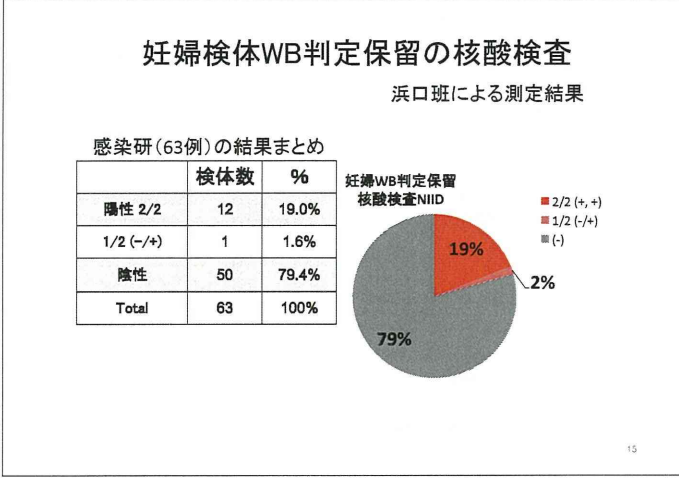
コホート研究進捗状況



WB法陽性妊婦からの出生児の栄養法の推移

短期母乳を選択しても母乳投与期間が延長してしまう例がある

選択栄養法		1か月	3か月	6か月	9か月	12か月	18か月
母乳	母乳	2	0	0	0	0	0
	冷凍母乳	0	0	0	0	0	0
	人工乳	1	3	2	1	0	0
	その他	2	1	1	0	0	0
短期母乳	母乳	98	26	4	1	2	0
	冷凍母乳	2	2	1	2	0	0
	人工乳	14	68	33	9	24	3
	その他	9	2	1	3	7	2
冷凍母乳	母乳	0	0	0	0	0	0
	冷凍母乳	7	3	0	0	0	0
	人工乳	2	6	6	3	3	0
	その他	2	0	0	0	1	1
人工乳	母乳	0	1	0	0	0	0
	冷凍母乳	0	0	0	0	0	0
	人工乳	70	54	31	10	13	0
	その他	0	0	0	0	2	2
	270	210	166	79	30	52	8



まとめ

- 妊婦に対するHTLV-1抗体スクリーニング検査が導入され、母子感染予防と児の健全な育成の視点に立った推奨可能な乳汁栄養法を明らかにすることが本研究班の目的である。
- 平成23年度の実態調査とPCR法の結果から、年間のキャリア妊婦数は約1700名と推定される。
- コホート研究で登録されたWB法陽性および判定保留妊婦の数は2年間で447名であった。
- WB法陽性妊婦が選択した乳汁栄養法で最も多かったのは90日以内の短期母乳栄養(56%)で、人工栄養は35%であった。
- 短期母乳栄養を選択した母親が6か月以上にわたって母乳を与えている例があることから、短期母乳を選択した母親への支援をさらに強化する必要がある。
- PCR法の導入により判定保留例を減少させることができる。
- 判定保留妊婦のPVLは極めて低値であった。
- 今後は、リクルートされた妊婦から出生した児の高いフォローアップ率を維持し、推奨可能な乳汁栄養法を明らかにする予定である。

17

H25年度HTLV-1関連疾患研究領域研究班合同発表会
平成26年2月8日(土)東京大学医学部研究所

25年間継続した妊婦のHTLV-1抗体検査から得られた母子感染予防効果の検証および高精度スクリーニングシステム開発

研究代表者 増崎英明
長崎大学医歯薬学総合研究科(産婦人科)

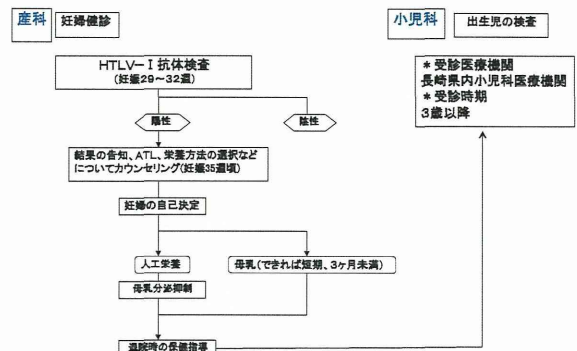
目的

1987年より長崎で取り組んでいる妊婦のHTLV-I感染症スクリーニングがもたらした母子感染予防効果を検証し、HTLV-Iの母子感染経路の全容解明と高精度スクリーニングシステムを開発する

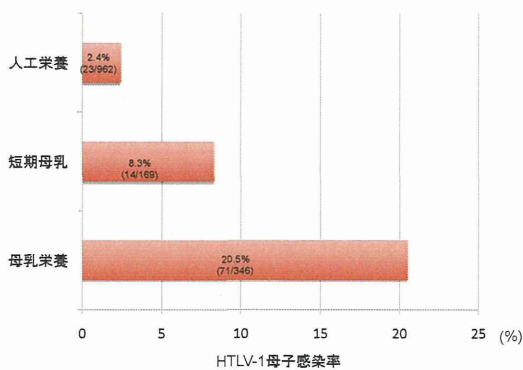


- 1)平成23年度:
 1. PCR検査法を導入した妊婦HTLV-I感染症スクリーニングシステムを確立する。
 2. 妊婦HTLV-I抗体スクリーニングがもたらす母子感染予防効果を検証する。
- 2)平成24年度:
 1. 妊娠合併症とHTLV-Iウイルス量との関連を明らかにする。
 2. 母乳以外の感染経路の存在の有無を明らかにする。
- 3)平成25年度:
 1. PCR検査法を導入した高精度スクリーニングシステムを開発する。
 2. HTLV-Iキャリア妊婦への介入試験の有効性を評価する。

1. 妊婦HTLV-1スクリーニング検査と母子感染防止効果
2. PCR法を導入したHTLV-1スクリーニング検査の検証
3. 母乳以外のHTLV-1母子感染経路の同定
4. 妊娠がHTLV-1キャリアへ及ぼす影響について



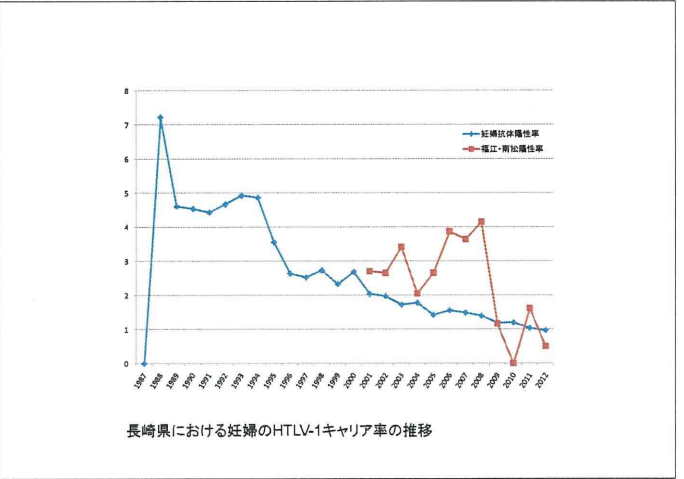
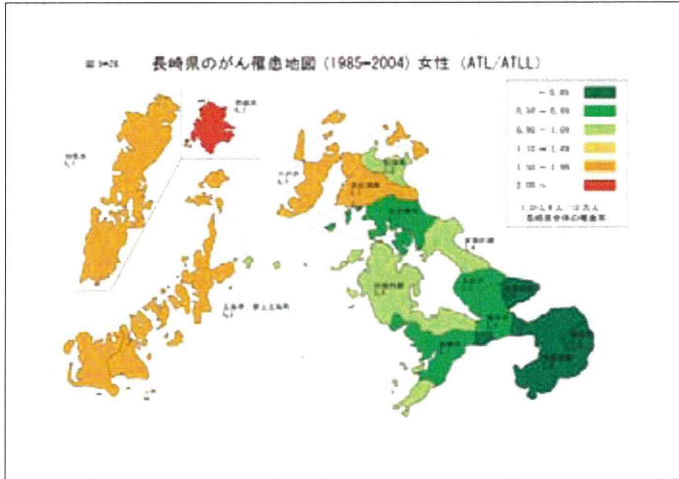
長崎県ATL母子感染予防プログラム



長崎県におけるHTLV-1キャリア妊婦が選択した栄養法と母子感染率との関連

26年間の妊婦HTLV-Iスクリーニング検査成績の年次推移

年	妊婦抗体検査数		HTLV-Iキャリア数 (C)	HTLV-Iキャリア率 (C)/(A) %
	(A)	(B)		
1987	-	511	390	-
1988	9579	1076	891	7.2
1989	15241	1856	708	4.6
1990	14504	804	658	4.5
1991	14221	725	630	4.4
1992	12123	877	566	4.7
1993	10422	600	513	4.9
1994	9814	523	477	4.9
1995	11820	463	420	3.6
1996	12969	396	342	2.6
1997	12273	321	310	2.5
1998	12403	356	338	2.7
1999	12006	290	278	2.3
2000	10286	287	276	2.7
2001	11278	242	228	2.0
2002	10724	230	211	2.0
2003	10483	197	180	1.7
2004	9993	184	177	1.8
2005	9987	133	127	1.4
2006	8908	144	138	1.5
2007	8713	138	128	1.5
2008	8930	131	124	1.4
2009	8654	134	114	1.3
2010	9998	145	118	1.2
2011	9873	117	102	1.0
2012	9608	122	87	0.9
2013	9467	128	104	1.1
合計	284282	8932	8444	2.8



出生年代別に見た妊婦のHTLV-1スクリーニング検査成績(2001~2013年累積)

年代別	1次検査		2次検査		キャリア率	
	実施数	対象数	陽性数	陽性数	(%)	(%)
1955以前	10	1	1		10.00	
1956~1960	238	8	8		3.36	
1961~1965	2,957	89	87		2.94	
1966~1970	13,659	310	297		2.17	1.46
1971~1975	33,992	554	498		1.47	
1976~1980	36,630	531	474		1.29	
1981~1985	24,485	325	273		1.11	
1986~1990	8,661	75	59		0.68	
1991~1995	1,179	8	4		0.34	0.64*
1996~2000	19	1	0		0.00	
合計	121,830	1,902	1,701		1.40	1.40

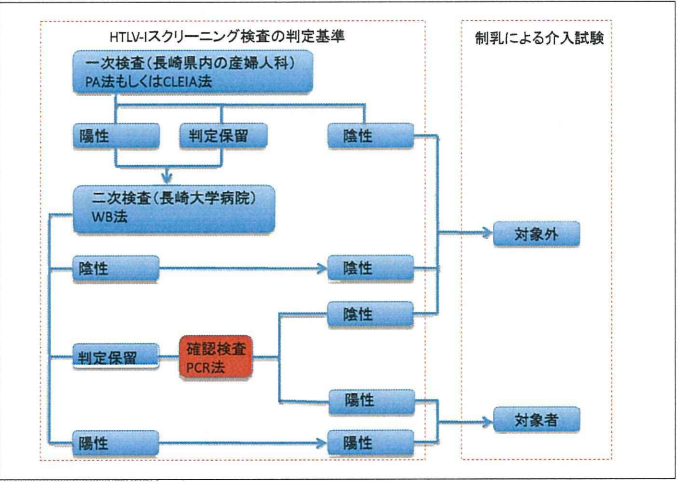
ピンク:妊婦HTLV-1スクリーニング開始後に出生した世代, * P<0.05

HTLV-1キャリア妊婦が選択した栄養法の年次推移と啓発活動の重要性

検査年	人工	混合	短期母乳	母乳	合計
1989	117	5	8	18	148
(%)	79.1	3.4	5.4	12.2	
2000	97	2	15	12	126
(%)	77	1.6	11.9	9.5	
2001	85	2	15	12	116
(%)	73.3	2.6	12.9	11.2	
2002	70	2	18	16	108
(%)	66.0	1.9	17.0	15.1	
2003	78	2	10	16	104
(%)	73.1	1.9	9.6	15.4	
2004	63	7	16	26	114
(%)	55.3	6.1	15.8	22.8	
2005	53	1	11	8	73
(%)	72.6	1.4	15.1	11.0	
2006	43	1	16	8	70
(%)	61.4	1.4	25.7	11.4	
2007	43	0	13	13	69
(%)	62.3	0.0	18.8	18.9	
2008	39	0	15	11	64
(%)	59.4	0.0	23.4	17.2	
2009	55	1	22	8	86
(%)	64.0	1.2	25.6	8.3	
2010	66	1	20	9	96
(%)	68.8	1.0	20.8	8.4	
2011	58	0	19	5	82
(%)	70.7	0.0	23.2	6.1	
2012	63	1	16	5	85
(%)	74.1	1.2	18.8	5.9	
2013	58	1	14	6	79
(%)	73.4	1.3	17.7	7.6	
合計	885	27	232	174	1,418
(%)	69.5	1.9	16.4	12.3	

長崎県ATLVウイルス母子感染防止に関する講演会
長崎県ATLVウイルス母子感染防止に関する講演会
長崎県ATLVウイルス母子感染防止に関する講演会

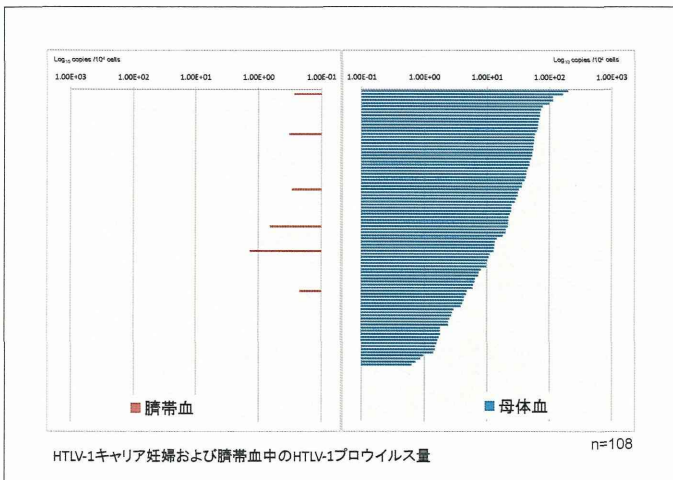
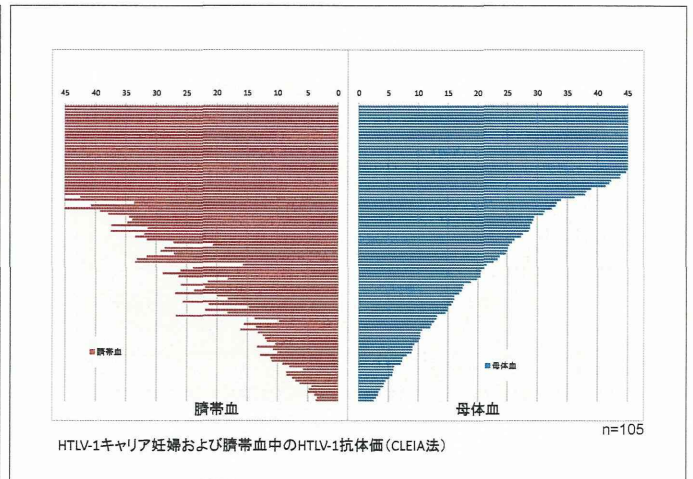
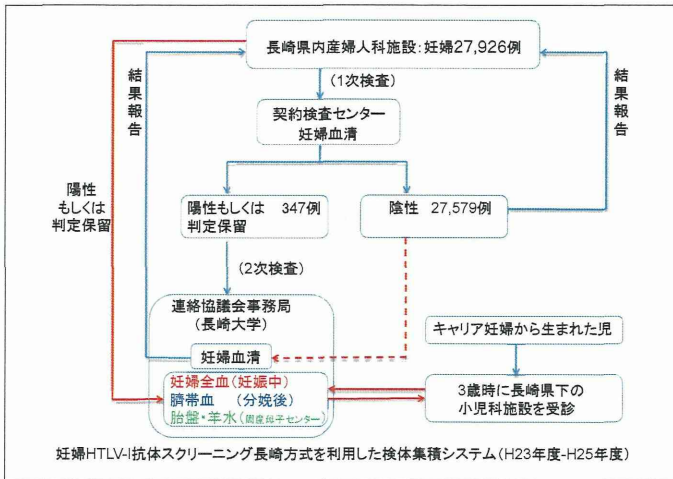
1. 妊婦のHTLV-1スクリーニング検査と母子感染防止効果
2. PCR法を導入したHTLV-1スクリーニング検査の検証
3. 母乳以外のHTLV-1母子感染経路の同定
4. 妊娠がHTLV-1キャリアへ及ぼす影響について



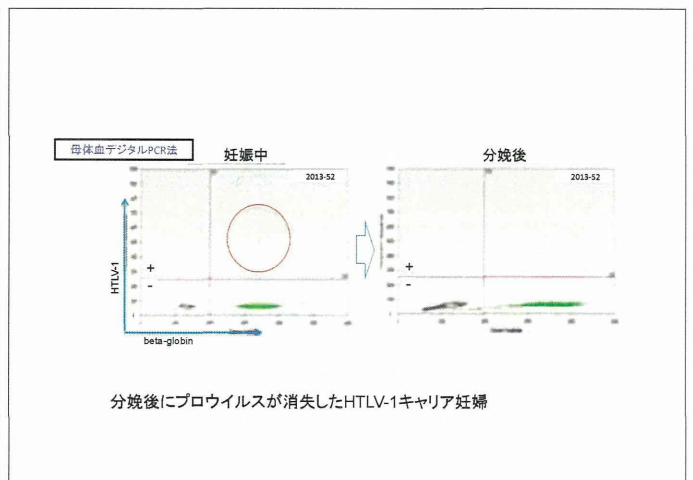
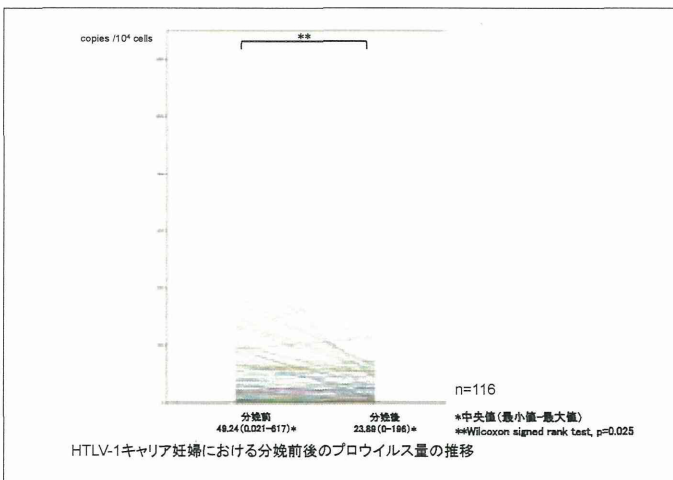
PCR法を導入した妊婦のHTLV-1スクリーニング検査成績 (2011年1月1日~2013年12月31日)

1次検査 (長崎県内の産婦人科) PA法もしくはCLEIA法 27,926例	陽性 310例	疑陽性 37例	陰性 27,579例
2次検査 (長崎大学) Western blot法 347例			
判定保留 44例			
定量的PCR			
	陰性 42例	陰性 15例	
	陽性 29例	陽性 262例	

1. 妊婦のHTLV-1スクリーニング検査と母子感染防止効果
2. PCR法を導入したHTLV-1スクリーニング検査の検証
3. 母乳以外のHTLV-1母子感染経路の同定
4. 妊娠がHTLV-1キャリアへ及ぼす影響について



1. 妊婦のHTLV-1スクリーニング検査と母子感染防止効果
2. PCR法を導入したHTLV-1スクリーニング検査の検証
3. 母乳以外のHTLV-1母子感染経路の同定
4. 妊娠がHTLV-1キャリアへ及ぼす影響について



分娩後にプロウイルスが消失したHTLV-1キャリア妊婦のリスト

No.	妊娠中			分娩後	
	CLEIA法	Western Blot 法	定量PCR法 (copies /10 ⁴ cells)	Western Blot 法	定量PCR法 (copies /10 ⁴ cells)
2012-70	14.9	陽性	0.0817	陽性	0
2013-19	20.4	陽性	0.0558	判定保留	0
2013-37	15.8	陽性	0.3182	陽性	0
2013-52	5.8	陽性	4.9723	陽性	0
2013-80	3.3	判定保留	0.3067	判定保留	0

- 本研究課題の達成状況
- 1)平成23年度:
 - ☑ 研究1: 妊婦HTLV-1抗体スクリーニングがもたらす母子感染予防効果を検証する。
 - ☑ 研究2: PCR検査法を導入した妊婦HTLV-1感染症スクリーニングシステムを確立する。
 - 2)平成24年度:
 - ☑ 研究3: 妊娠とHTLV-1ウイルス量との関連を明らかにする。
 - ☑ 研究4: 母乳以外の感染経路の存在の有無を明らかにする。
 - 3)平成25年度:
 - ☑ 研究5: PCR検査法を導入した高精度スクリーニングシステムを開発する。
 - ☑ 研究6: HTLV-1キャリア妊婦への介入試験の有効性を評価する。